

新たな感染症とともに



学校現場や保護者の皆様の疑問や不安にお答えします

Q オミクロン株の特徴について、今分かっていることを教えてください。

オミクロン株は、昨年 11 月末に初めて報告された新型コロナウイルス変異ウイルスの1つです。世界的にもデルタ株からオミクロン株へ短期間で置き換わっています。

1) 感染力

デルタ株の **2.8 倍** *感染経路は今までと同じく、主に飛沫感染と接触感染です。

2) 潜伏期間

オミクロン株：**約 3 日** (従来株：約 5 日) *潜伏期間は、短くなりました。

3) 症状

頻度の高い症状：**発熱、咽頭痛**

頻度の低い症状：嗅覚・味覚障害

*無症状の場合もあります。

4) 重症度

デルタ株と比較して肺炎は重症化しにくい傾向が示されています。理由の1つとして、オミクロン株は上気道(のど)の感染が主体で、奥にある肺において増殖するスピードがゆっくりであることが挙げられています。医療現場でも驚くほど、成人の中等症や重症の例が減りました。

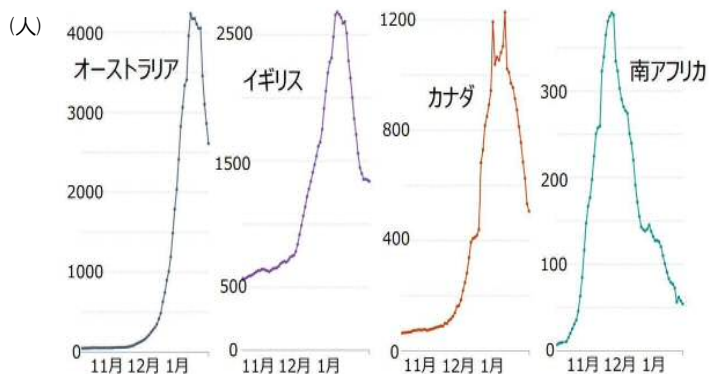
5) 富山におけるオミクロン株感染の小児例

われわれ医療班が現場で把握している限り、中等症以上の症例はありません。軽症または無症状のみです。発熱は 1~2 日程度、咳もひどくなく、ほとんどが経過観察のみで、これまでの対応と変わりません。富山市では、胃腸炎や RS ウイルスが流行してきましたが、こちらのほうがコロナ感染症より症状はひどく、外来患者数や入院例も圧倒的に多い状況です。

Q オミクロン株の感染拡大は、いつまで続くのですか？



コロナウイルスの各国における最近の感染者数(10万人あたり)



オミクロン株の流行が最初に報告された南アフリカでは、感染が広がり始めておよそ **1 か月でピーク**に達し、その後、感染者数は減少に転じています。図の各国に背景の違いはありますが、どの国でもオミクロン株は、1か月程度で迅速にピークアウトしています。

日本各地でも今後 2 週間以内にピークとなり、一気に低下する予測もあります。しっかり低下させるために、手洗いやマスクの着用など、基本的な感染対策の遵守が必要です。

Q 海外では子どもの入院が急増していると報道されています。子どもが感染すると重症化しやすいのですか？

これまでと比較して子どもの感染者も普通に見られるようになり、不安はあると思います。しかし、決して他のウイルス感染症と比較して極端に増えているわけではありません。子どもの重症化率は、デルタ株と比較して低いことも分かってきました。全国でも小児の重症例はほとんど認められていない状況です。

富山県における感染者の年齢分布を示しますが、決して子どもだけが aumentando しているわけではありません。これは他の都道府県でも同様です。子どもの感染者が多いという表現は、

「従来に比べて」という意味であり、子どもたちの感染が増えてきても、惑わされることなく、従来の風邪ウイルスと同様に落ち着いて対処していけば、大丈夫です。



Q 受験生は、どんなことに気をつければよいですか？

感染対策は、これまでと一緒です。いわゆる三密を避け、個人の対策としてはマスクの着用や手洗いをしっかりと行いましょう。特に今は胃腸炎が流行してきており、アルコール消毒だけでは不十分です。手洗いをしっかりと行い、汚れもウイルスも落として下さい。

通常の風邪ウイルスと同じく、身近な存在になりつつあるコロナですが、受験生の皆さんは、感染を過度に心配しすぎず、食事や睡眠など規則正しい生活に気を配りましょう。時々運動することも重要です。万が一、感染したとしても悩む必要はありません。誰もが罹患するウイルスです。あなたが悪いわけではありません。

心を落ち着かせ、栄養と休養をしっかりとることが早く治すコツです。われわれ人間にはウイルスに対抗する力がもともと備わっているのです。皆さんが受験で本来の力を発揮できるよう、応援しています。



Q 卒業式や入学式はどうなりますか？

適切な感染対策を実施しながら開催する方針です。これからも学校と検討会議が連携し、式典のあり方を模索していきます。

富山市の感染状況や学校の規模により一律に決めることはできませんが、できる限り卒業生や新入生と関わりのある方々に参加いただき、よい門出を迎えてもらいたいと考えています。そのためには保護者や学校側の理解と協力が必要になりますので、引き続きよろしくお願いたします。



検討会議は、引き続きコロナ関連の情報提供を続けていきます。

これまでに発行したリーフレットは、市学校保健課、各学校(園)のHPで見ることができます。

【事務局】富山市教育委員会 学校保健課 (TEL 443-2136)